バドミントンチャレンジ大会競技概要と大会申し合わせ事項

１．ラリーチャレンジ

　・決められた時間（5分間）の中で、ラリーが何回続くかチャレンジする。

　　ただし、１００回を上限とする。

　・ラリーのペアは自由。（自分でペアを用意するか、主催者にお願いする）

　・ラリーの回数は、連続した回数をカウントし、失敗した場合はまた1から数え直す。

　・ラリーのカウントは、主たる参加者が明確に返球したものをカウントするものとする。

２．サーブチャレンジ

　・反対コート上にエリアを決め、10回の試技で、エリアの中にうまく入ったものをカウントする。

　・空振りは1球につき、2回まではやり直しが出来る。

　・サーブは、サービスラインの後方からなら、どこから打っても良い。

　・1度エリアに入ってバウンドして枠外に出たものは、入ったものとしてカウントする。





※レイアウトは変わることがあります

３．スマッシュチャレンジ

　・反対コート上に的を置き、10回の試技で何回的に当てられるかチャレンジする。

　・トスは、バドミントン経験者の方にあげてもらう。

　・空振りは、もう1回だけ再チャレンジできる。

※的のレイアウトは変わることがあります